



平成 28 年 11 月号

今月の断酒表彰

☆ S・H さん 南千里支部 断酒三年

断酒表彰おめでとうございます。ますます
のご活躍を期待いたします。

断酒に思う (73)

吹田支部 O・H

断酒がうまく続き、ある程度時間が過ぎると過去に自分が飲酒していた時の記憶が薄れてしまいます。記憶を呼び戻すことをしても、同じ記憶ばかり浮かんでしまいます。

まあ、お酒に関しては飲むことだけしか考えていたので、同じことばかりを繰り返していたのかもしれない。

断酒会に出席して違う人の体験談を聞いていると、忘れていた記憶がぼんやりと浮かんできます。

お酒を飲むために、ついた嘘、同じことをしています。

お酒を飲むために、破った約束、同じことをしています。

お酒を飲むために、人をだましたこと、同じことをしています。

お酒を飲むために、お金を捻出したこと、同じことをしています。

やはり、この病気になってしまうと人は同じようなことをしてしまうと、断酒会に行くと再確認させてくれます。

体もそうです。

夜寝ていると突然足がつってしまう。

嘔吐し過ぎて胃から何も出なくなったこと。

目が充血して、いとも誰かを睨んだようになってしまうこと。

頭痛・胃痛があるのですが、お酒を飲むと嘘のように痛みが無くなること。

飲酒アルアルでしょうか。

断酒会に来ていると、同じ事をしていたことを体験談として教えてもらいます。

自分だけは違う、自分はまともだ、自分よりひどい人は周りにたくさんいる。

そんな人間はたくさん知っている。

だから自分は病気ではなく、お酒を飲んでよい。

そうゆうことばかり考えていました。

ですが、入院して、断酒会に入って体験談を聞いて・話してしていくとやはり自分は病気なんだと確認し

平成 28 年 11 月 1 日発行 No.165

編集・発行 事務局・広報部

<http://suitashi-danshukai.net>

ていきます。

一度飲んだら、止まりませんからね。

これからも、お酒に近づかないようにして、一日一日断酒を積み重ねていきたいと思っています。

【今月の「指針と規範」】断酒会規範

十 断酒会は政治、宗教、商業活動に利用されない。

断酒会は、例会に於ては体験談に終始するという原則を持っているが、組織の運営を討議する理事会、代議員会等では、何でも自由に討論することができる。ただし、政党、宗派の問題だけは例外である。

断酒会にはあらゆる政治思想、信仰を持つ人が入会している。政治思想、信仰は、信奉する人にとっては絶対的ともいえるものであり、そうした議論の中で起こる確執は断酒会員の融和、一体性を損なうだけでなく、将来にしこりを残すからである。

また、そうした議論の中でもし意見統一があった場合は、断酒会は政治、宗教に利用される恐れがあり、「断酒会は人間愛に充ちた純粋な奉仕団体である」という、基本理念を捨てることにもなるのである。

確かに断酒会は、政治的に動くことはある。地方行政機関に様々な要請をし、政治家に協力を求める。しかしそれは、地域の酒害者を救済するためのものであり、酒害啓発活動をより効果的にするためである。つまり、断酒会活動の一環として行っているものである。また、協力を要請する政治家は酒害問題に理解を示す人に限られており、かつ党派を超えたものである。

断酒会は政治的に動いても、政治的に利用されない組織である。選挙等には一切関与しない。また、宗教団体の協力があったとしても、断酒会を布教の場にはさせない。酒害問題は社会全体の問題であり、われわれの活動に協力することは彼らの良識であり、見返りを求めないはずである。

断酒会は財源が乏しいので、活動資金を得るために出版や商品の販売を組織として行うことがある。これは止むを得ぬ手段であるので許される。ただし、酒害問題に直接、間接的に関係のあるものの販売が常識である。

会員個人、もしくは外部の者の利益のために、断酒会の中での商行為は許されない。断酒会の純粋さを侵すだけでなく、会員同士の間人間関係の悪化につながるからである。

(指針と規範 P95~P96)

(アルコール関連ニュース)

ノラ・ジョーンズの最新曲、アルコール依存症の男を歌った『トラジェディ』



ノラ・ジョーンズは、新曲『トラジェディ』で重々しい教訓を甘く囁く。この曲は、普通の家庭生活からアルコール依存症に陥った25才の男の物語だ。「幼い子どもたちと寛大な妻／でも彼をハイにすることはできない」と、ジョーンズはスモーキーなピアノと Hammond・オルガンにのせて歌う。「だから彼は、ただグラスを満たすために妻子を捨てた／一口すするごとに彼は生きていることを実感した／酒は骨の髄まで染み渡った」。

『トラジェディ』は、間もなく発売されるジョーンズの6枚目となるアルバム『デイ・ブレイクス』を垣間見させてくれる。ジョーンズはこれ以前にも、甘く優しい『キャリー・オン』と、政治色の強い『フリップサイド』をリリースしている。『フリップサイド』は、“ここ数年この国や世界”で起きている“不安定でクレイジー”な出来事のニュースにインスパイアされたものだ。

12曲が収録される『デイ・ブレイクス』には、ニール・ヤング（『ドント・ビー・ディナイド』）、ホレス・シルバー、デューク・エリントンのカバー曲も含まれる。サクソフォーンの巨匠、ウェイン・ショーター、オルガン奏者のロニー・スミス、ドラマーのブライアン・ブレイドがゲストとしてこのアルバムに参加している。

「この新作アルバムで一巡した感じがするわ。昔に影響を受けたものに戻っているのよ」とジョーンズは語っている。「最初のレコードの後、私は少しピアノから離れてしまった。弾いてはいたけれど、作曲の時はギターの方がインスパイアされたの。このレコードでピアノを弾くのは本当に楽しかったわ」。

発売日：2016年10月5日

ノラ・ジョーンズは、アメリカ合衆国のピアノ弾き語りジャズ歌手

